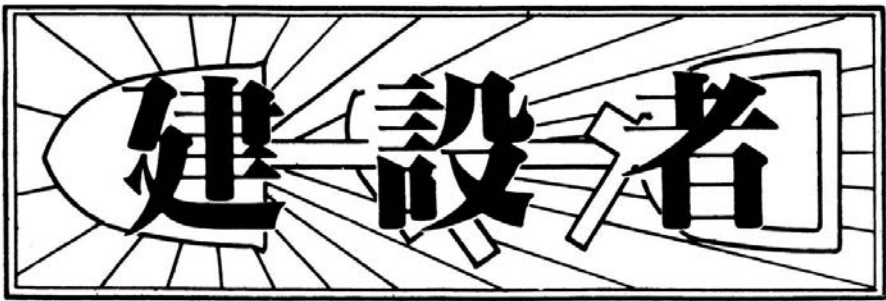


今月の葛飾組織現勢

2025年7月1日現在	4,060人
加 入	24人
転 入	2人
脱 退	84人
転 出	2人
2025年8月1日現在	4,000人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電 話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 関 根 伸 正



水害で車のドアが開かなくなる体験中（益子常任）

まちの救助隊NAMAZU
本所防災館で自然災害を疑似体験

【深谷書記次長】まちの救助隊NAMAZUは7月6日（日）に墨田区の本所防災館で11名が防災体験をしまし

た。今回申し込んだのは105分の自然災害コース。地震・煙・暴風雨・都市型水害が体験できるものです。この体験は他の申込者と合同でしたが、子どもを含む家族連れが多く、平均年齢を圧倒的に引き上げました。

特に都市型水害は水により建物の扉や車のドアがわずかに数センチメートル上昇するだけで重たくなり、開かなくなつたなどニュースなどで聞いていても、いざ開かないと冷静にはいられなくなります。館内は無料で体験でき、売店では限定グッズも販売されています。災害に備えて体験してみたい方がですか。東京土建葛飾支部まちの救助隊NAMAZUでは災害時における応急対応業務に関する協定を交わしています。災害時の地元協力と仕事確保、入札時の際の加算など参加することの長所もあります。未加入の方で参加希望の方は支部までお問い合わせを。

原水禁平和大行進
80人が平和アピール

被ばく80年となった2025年の原水爆禁止国民平和大行進。5月6日に北海道礼文島をスタートした行進は、日本を縦断し、7月24日にいよいよ葛飾での行進となりました。この行進には、葛飾支部の代表で今年の原水爆禁止世界大会（長崎）に参加する齋藤裕子さん（中央）と折笠和子さん（亀有）が参加。

80人が集まった平和大行進は、浅江公園で集会后、奥戸街道、立石駅前を通り、青戸平和公園まで平和アピールしながら行進。集会には、中央大学の学生2人も参加。その1人からは、「平和問題は一番大切と思っているのに、参議院選挙の争点としては注目されていなかった」と国政選挙の争点への疑問と改めての平和の大切さへの訴えがありました。



行進に参加の折笠さんと齋藤さん（左から3・4人目）

国保予算の要求運動
今月からは対都要請



集まった予算要求ハガキ

多くの組合員、家族みなさんにご協力いただき取り

組んでいる来年度の建設国保補助金獲得の運動ハガキ要請行動。6・7月に取り組んだ厚生労働省宛ハガキは、来年度予算確保に向けて厚労省が財務省への概算要求額を減らさないことを要請するための取り組みです。その結果、みなさんの協力で6584枚（昨年7743枚）集まり、提出することができました。ご協力ありがとうございました。

今後の予定

今後左記のとおり、東京都と財務省に向けたハガキ要請行動に取り組みしていきます。ハガキシート組織人員分が目標です。

- ・東京都宛ハガキ要請 8～9月の取り組み
- ・財務省宛ハガキ要請 10～11月の取り組み

演さん

参議院選挙は、周知のとおり参政党と国民民主党の躍進により、自公与党が過半数割れとなった。投票率も58・51%と2007年以来の高水準。政治への無関心を言われる昨今、政治への関心が高くなり投票行動に反映されるにいたつたことは、より国民の様々な民意が政治に反映されるようになったということであろう。一方で、政党の力が分散されたことによつて政治の停滞をまねかないことは課題である。いずれにしても東京土建としては、建設業にとつてより良い環境を求める運動を進めることに変わりはない。

今年は戦後80年。80年前の8月に広島と長崎へ原爆が投下され、1日に終戦となった。この悲惨な戦争の経験からできたのが憲法9条である。日本国民が国際平和を誠実に希求し、戦争と武力の行使を永久に放棄することを規定した憲法9条は、戦争の悲惨さを再び味わうことのないよう世界に誇れる条文である。一方で、戦争を体験した世代は年々減り、その悲惨な体験は記憶から歴史へと変わりつつある。その悲惨さを戦争を知らない今を生きる世代、そしてさらに次の世代に引き継ぐことは、戦争をしない世界をつくるためにも今を生きる人の使命である。世界では戦争、紛争が絶えない。日本であるからこそ発信できる平和があるはずだ。平和について真剣に考え行動し、戦争のない世界を作っていきたい。



共済制度学習会に22人が参加

● 共済制度学習会 ●

制度の魅力
を学ぶ

【厚生文化担当 石井書記】

7月24日（木）厚生文化部主催の共済制度学習会を支部会館3階にて行いました。

厚生文化部員を含む22人が参加し、各講師を招いて各種共済、保険制度についての学習会を行いました。

①トータル保険サービスの松

田氏よりどけん共済会用独自のプランで今年ブラッシュアップしたがん保険のプランの概要や掛金が他一般の被保険者に比べて安く抑えられるなど、どけんの組合員ならではの内容に関心が高まりました。

た。

②林保険事務所の林氏から、自転車保険の概要と今年より開始した介護認定保険2つの制度について説明がありました。

質疑応答では、各組合員の実体験も含めて質問が多くて保険の対応などについて知識を深められました。

③どけん共済会の山岸氏より、どけん共済で取り扱う火災・地震共済と自動車共済について説明がありました。火災・地震共済の掛金が安く抑えられている背景や時代に合った制度内容に変化していく

夏日常拡大月間 成果表

	2025年 1月 1日付	2025年 8月 1日付	1月比 増減	夏 日常 拡大 目標	夏 日常 拡大 加入数	夏の日常拡大 成果表 8月1日現在										増減
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
た つ み	490	479	-11	10	6	●	●	●	●	●	●					増減▼11
奥 戸	376	379	3	8	6	●	●	●	●	●	●					増減◎3
本田立石	298	293	-5	6	2	●	●									増減▼5
青 戸	142	137	-5	3	0											増減▼5
中 央	356	338	-18	7	3	●	●	●								増減▼18
堀 切	253	252	-1	5	7	●	●	●	●	●	●	●				増減▼1
亀 有	377	382	5	8	8	●	●	●	●	●	●	●	●			増減◎5
細田高砂	363	354	-9	7	4	●	●	●	●							増減▼9
柴 又	166	157	-9	3	0											増減▼9
新 金 町	284	277	-7	6	4	●	●	●	●							増減▼7
北 水 元	179	180	1	3	3	●	●	●								増減◎1
幸 田	254	252	-2	5	2	●	●									増減▼2
水 元	371	351	-20	7	5	●	●	●	●	●						増減▼20
そ の 他	167	169	2	3	3	●	●	●								増減◎2
合 計	4076	4000	-76	81	53	6月27人		7月26人		8月 人		合計=53人				

1月1日付人員比 76人減

夏の日常拡大

堀切・亀有・北水元が達成

年間実増を意識した取り組みを

今月8月までは夏の日常拡大月間（仲間増やしの月間）です。2025年を実増で迎えるうえでも、重要な月間です。1月1日付組織人員が4076人に対して、8月1日付は、4000人。76人の減少です。4000人を割り込むぎりぎりの人員となっています。分会では組織実増で経緯しているのが、亀有分会の5人、次いで奥戸分会の3人、北水元1人の3分会です。

また、この夏の日常拡大月間の加入目標に対する成果分会は11分会。目標数は81人に

するうえで、労災保険の加入CCUSの登録など、どうすれば良いのかなどの未加入の方からの相談があった場合は、組合事務所を紹介ください。

組織実増を意識した取り組みで、今年こそ実増を実現しましょう。

公式LINE登録しよう



集団健診
207人が受診

13人が特定保健指導の面談

【社会保障担当 小野書記】

7月13日（日）にテクノプラザかつしかで支部集団健診を実施しました。207名の仲間の受診があり、コロナ禍以降支部集団健診では最も多い受診者となりました。健診と同時実施した特定保健指導の面談者は13名でした。支部集団健診では同日に特定保健指導を受けることが出来ます。

健診は受けるだけでは健康になることはありません。健診の結果を受け止め、病気になる前に対策を打つ必要があります。土建健診は安全衛生法

の健診項目に比べて検査項目が充実しています。1年に1回必ず健診を受け、自身の健康状態を把握して下さい。

また、仲間のいのちと健康を守るために土建国保ではけんチャレや健康ウォーキングなど様々な取り組みを行っています。デイズニー割引チケットの取り扱いなど様々な制度がありますので、気になる点があればお気軽に葛飾支部迄お問合せ下さい。今回のテクノプラザ支部集団健診は11月9日を予定しています。



テクノプラザでの集団健診

熱中症に注意

夏本番を迎え、連日40度に迫る暑さが続いています。こまめな水分補給と休息で熱中症対策をお願いします。

